

新しい生活様式に基づく新潟市資源再生センター エコープラザ 利用ガイドライン

本ガイドラインは、新型コロナウイルス感染拡大の防止と新潟市資源再生センター(エコープラザ)での活動の両立を進めるために、「新しい生活様式」の実践を図りながら、新潟市資源再生センターで行われる活動に係る基本的な考え方を示すものです。

なお、状況の変化があった場合には、本ガイドラインの見直し等を行うことがあります。

「新しい生活様式」とは(実践例)

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染対策の3つの基本 ①身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③手洗い

人との距離は、できるだけ2m空ける

会話をする際は、可能な限り真正面を避ける

外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用

手洗いは30秒程度かけて、水と石けんで丁寧に洗う(手指消毒液の使用も可)

(2) 日常生活を営む上での基本的な生活様式

まめに手洗い、手指消毒 咳エチケットの徹底 こまめに換気

身体的距離の確保 「3密」の回避(密集・密接・密閉)

毎朝 体温測定、健康チェック。発熱または風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養

1 基本的な感染症対策を実施する

○体調不良の方の活動自粛

・発熱等の風邪の症状がみられる時や体調がすぐれない方の利用は控える。

○感染予防・感染拡大を防ぐ

・入館の際には、手洗いや手指の消毒を行うこと。

・施設内ではマスクの着用、咳エチケットを徹底すること。

○「3密」(密集・密接・密閉)を徹底的に回避した上で活動する

密集しない

多くの人が手の届く距離に集まらないための配慮を行う。

(対策例)

- ・人の密度を下げるために、長机1台につき一人など、席の配置を考慮する。
- ・対人距離を確保して活動する(できるだけ2m四方空けることを目安に)。なるべく対面方式は避ける。
- ・部屋の定員の概ね1/2の人数で開催するなど会場を広く使う。
- ・利用人数は100人以内とする。

密接しない

飛沫を発生させないように工夫する。

(対策例)

- ・近距離での会話や発声の際はマスクを使用。
- ・飲食を伴う活動を行う場合は、手洗いを徹底し、飛沫を発生させないようにする。また、対面での会食を避け、会話は控える。

密閉しない

換気を徹底する。

(対策例)

- ・可能であれば2方向の窓を同時に開けること。
- ・それが難しい場合でも、1時間に10分は窓を開けて換気を行う。
- ・部屋の換気扇を常時作動させる。
- ・活動前に新型コロナウイルス感染症対策チェックリストを確認し、対策を講じる。
利用終了後、チェックリストや参加者名簿を記載し、記載したものは各団体に保管する。
- ・活動終了後の会話は控え、できるだけ速やかに退館する。

2 イベントの実施について

- ・開催判断の目安として、参加者は最大でも100人以内とする。
- ・比較的静粛で座学的な一方向性の類は実施可。
- ・会話や発声などで多くの飛沫が発生する活動ではないもの。
- ・参加者が特定できること。

3 特に注意する活動

集団感染リスクが高い下記の活動は、十分に対策をとること。

- 調理、会食を伴う活動
- 密接が避けられない活動

4 活動日の参加者を把握する

参加者名簿を作成し連絡先を把握しておく。(感染者が出た場合に追跡を可能にするための措置。提出は不要。利用団体が2週間保管する。)

5 接触確認アプリ

屋外、屋内に関わらず、接触確認アプリの使用を呼びかける。

6 適用期間

本ガイドラインの適用は令和2年7月10日(金)から当面の間とし、状況の変化があった場合には見直し等を行なうことがあります。

以上

新型コロナウイルス感染症対策チェックリスト

団体名 _____ 利用日 令和 ____ 年 ____ 月 ____ 日 (____ 曜日)
利用時間 _____ ~ _____
部 屋 _____

【ご利用いただく前に】

活動を始める前に参加者全員でご確認下さい。活動終了後、当日のチェックリストおよび参加者名簿を各団体で保管して下さい。施設で感染者が発生した場合に保健所に連絡できるよう2週間保管して下さい。

	感 染 症 対 策	チェック欄
1	発熱等風邪の症状がみられる参加者はいない。	
2	全員マスクを着用する。	
3	活動開始前に手洗いや手指の消毒を行う。	
4	100人以内を目安として利用する。	
5	参加者同士の距離をできるだけ2m程度空け、手の届く距離に集まらない配慮を行う。	
6	近距離での会話や発声を控える。	
7	会話程度以上の声は発生しない。息が上がる激しい運動は活動から省く。	
8	飲食を取る場合は、手洗いの徹底、対面での会食を避ける、会話を控える等の対応を行う。	
9	直接、手と手の接触など身体的接触のある活動は行わない。	
10	窓を開けて実施するか、定期的な換気を行う。可能であれば2方向の窓（出入口）を同時に開け、50分活動したら休憩し、換気を10分行う。（換気扇を常時回すこと）	
11	当日の参加者名簿を作成し、感染者が出た場合には参加者に連絡できる体制をとる。（感染者が出た場合に追跡を可能とするため）	
12	接触確認アプリの使用を呼びかける。	

万一感染者が出た場合に、追跡を可能とするため、当日の参加者を下記に記載して下さい。記載した名簿は各団体で2週間保管して下さい。

利用日 _____

団体名 _____

NO	氏名	連絡先	備考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			